

大平地域包括支援センター 担当

日 時： 令和7年8月20日（水）午後2時00分～2時30分

会 場： 栃木市役所大平総合支所 第3会議室

事例数： 1ケース（R7年1月15日検討した事例の振り返り）

参加者数： 13名

〔 事例提供者1名、助言者7名、包括職員2名、傍聴者3名 〕

複数の疾患を患い、生活意欲が低下している 87 歳男性

〈目標〉1日：自分で出来ることは自分で行う。

1年：体調を整えながら、安全に生活できる。

利用サービス：訪問介護・通所介護

《前回会議での支援策》

体調管理やできる家事を継続し、趣味活動等楽しみを持てるような生活ができるように支援する。

支援方針

- ① 複数の疾病を患い、今後透析による身体状況の変化も予測されるため、デイサービスやショートステイを利用出来ると良い。
- ② 透析によるタンパク質制限により唾液腺萎縮から唾液量が減少しやすく、基本チェックリストでは『唾液の減少』や『固い物が食べにくい』が該当している。口腔ケアの継続や食事前の首回し、肩の上げ下げ、口腔体操を勧める。
- ② 透析時に血圧管理されているが、心配な場合は毎日の血圧値を記録し、主治医に見てもらおうと良い。
- ③ 外出意欲がない場合は、下肢筋力を維持するために訪問リハビリを利用すると良い。通所サービスも短期集中型は利用しやすい。
- ④ 本人の残存機能を維持するために、掃除や洗濯等の家事は休息しながら自分でできる環境を整えていけると良い。
- ⑤ 透析による食事制限やカロリー調整が必要であるため、毎食の食事記録が出来ると良い。デイサービスを利用することで食事管理がしやすくなる。
- ⑥ 麻雀に関心があるため、麻雀が出来る集いの場やデイサービスを利用すると良い。外出出来ない場合は、パソコンが使用できるためオンライン麻雀も良いのでは。

《支援結果・状況》

- ①～⑤、⑦達成：デイサービス利用を開始し、リハビリ等を行いADL 低下予防や他者との交流により社会参加ができ、生活意欲の向上に繋がった。
- ⑥未達成：本人へ助言通り促しを行ったが、毎食の食事記録は出来ていない。